

《 患者の皆様へ 》

2024 年 6 月 10 日

薬剤部

現在、薬剤部では、「オピオイド誘発性便秘症に対するナルデメジントシル酸塩錠の有効性に影響する要因の検討」に関する研究を行っています。この研究ではがんによる痛みのためにオピオイド鎮痛薬が投与され、かつナルデメジントシル酸塩錠を使用された患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「オピオイド誘発性便秘症に対するナルデメジントシル酸塩錠の有効性に影響する要因の検討：後方視的研究」

2. 研究の意義・目的

がんによる痛みを有する場合に使用するオピオイド鎮痛薬には、便秘症を伴うことが多くの患者に認められています。各種のガイドラインではこれらの便秘症に対してナルデメジントシル酸塩の投与が推奨されていますが、投与開始時期や効果に影響する要因などに関する情報は十分ではありません。本研究では、オピオイド鎮痛薬が投与され、その便秘症改善のために使用されたナルデメジントシル酸塩錠の有効性に影響する要因を明らかにすることを目的に調査を行っています。

3. 研究方法・研究期間

本研究では、患者さんのカルテからデータを集積し解析を行います。

研究期間：2024 年 6 月 28 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

4. 研究費用負担のないこと

この研究に係る費用はあなたが負担することはありません。ただし、一般診療に係る費用は、通常通り自己負担分をお支払い頂きます。

尚、研究にご協力して頂いたことに対する金銭を含めた報酬はありません。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等の管理は、匿名化の上に千葉県済生会習志野病院の外部ネットワークが接続していない機器で保管します。また書類については鍵のかかる棚で保管します。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」

に基づいて掲示を行っています。

7. 本件のお問合せ窓口

社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院

担当部署：薬剤部 責任者：岸本大裕 電話番号：047-473-1281